

# 南 中 学 区

## 1 はじめに

南中学区では、三年前から「中1ギャップにどう取り組むか」というテーマを設定し、小・中連携を図ってきた。今年度は、2年間取り組んできたことの成果と課題を確認し、「小・中連携部会」や「授業交流」、「合同ボランティア活動」、「中学校体験交流会」を中心にして課題を克服し、よりスムーズな連携を目指すことにした。

## 2 今年度の取組

月 日	実 践 内 容	月 日	実 践 内 容
5月17日	連携委員会（南中）	9月9日	中学校体験交流会
5月30日 ～6月2日	授業交流	11月15日	保護者入学説明会
6月2日	連携部会（南小）	2月21日	小・中行事打ち合わせ会
7月20日	小・中合同クリーンアップ	3月24日	小・中引き継ぎ
		継続的に	ペットボトルキャップ回収

## 3 活動の実際

### (1) 小・中連携部会

#### ① 学習指導部会

昨年度課題となった家庭学習に関しては、ある程度の成果が得られた。時間は小学校が、「学年+10分」、中学校は「学年+1時間」と6年間を通して系統立てることができた。内容に関しても、低学年は家庭学習の習慣付け、中学年は学習の復習と定着、高学年は自主性、そして中学校では何のための家庭学習なのか、しっかりとその意味をもたせて自主的に取り組ませることを確認し合うことができた。反面、授業中の発表態度に関しては、小学校までは生き生きとしているが、中学校になると声が低く自分から進んで発表する姿も見られなくなる。小学校の「聞く・話す」のルールを中学校までの6年間を見越したものに作り直す必要があると確認した。

#### ② 生徒指導部会

あいさつ運動は、小・中一貫して指導しているので、大きな声で挨拶することに抵抗がない。また、掃除に関しても、小学校の縦割り掃除が中学校の掃除にもよい影響を及ぼしている。水拭きも億劫がらず、協力して行っている。

中1の子ども達が「時間に余裕がない」ということを困っている点として挙げている。今年度の小学校の日課表は分刻みの状態で動かなければならないので、行動もある程度素早くなり、少しは改善されるだろうと話し合われた。特別な支援を必要とする子どもの情報を早めに中学校に伝え、連携先を広くして中学校へ送り出すことも確認した。

### (2) 小・中合同クリーンアップ

町内ごとに小中学生を縦割りにして実施した。異年齢交流により、お互いの立場を考えて動いたりする社会性や思いやりの心の育成を図った。



## 4 おわりに

中1ギャップをテーマに取り組んだ3年間で、成果と課題が明確になってきた。これまでも小学校では、大きく環境が変わる中学校で子ども達が戸惑うことのないように配慮して学級経営を行ってきた。今後も中1ギャップで依然課題となっている点を踏まえて指導に当たりたい。